



平成27年度 果樹情報 第12号

(平成27年9月2日)

福島県農林水産部農業振興課



1 気象概況 (8月後半：果樹研究所)

8月後半の平均気温は、4半旬が24.0℃、5半旬が21.4℃、6半旬が18.7℃で、各々平年より0.8℃、3.4℃、5.7℃低く、この期間の降水量は91.5mmで平年の108%でした。

2 生育状況 (果樹研究所)

(1) もも

ア 収穫期と果実品質

「川中島白桃」の収穫盛りは8月16日で平年より12日早く、果実は385gで平年より大きく、糖度は13.3%で平年より高い状況でした。

「ゆうぞら」の収穫盛りは8月21日で平年より15日早く、果実は346gで平年より大きく、糖度は12.9%で平年より高い状況でした。

表1 ももの主要品種の収穫期と果実品質

品種	収穫始(月/日)			収穫盛(月/日)			収穫終(月/日)			平均果重(g)			糖度(Brix)		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
あかつき	7/21	8/ 2	7/29	7/24	8/ 6	8/ 4	7/30	8/11	8/ 7	270	255	286	13.0	12.6	12.9
まどか	8/ 3	8/ 9	8/11	8/ 6	8/13	8/15	8/10	8/17	8/21	357	327	344	14.3	13.6	11.6
川中島白桃	8/13	8/25	8/21	8/16	8/28	8/25	8/20	8/31	9/ 2	385	314	407	13.3	12.9	11.6
ゆうぞら	8/18	9/ 1	8/29	8/21	9/ 5	8/31	8/27	9/10	9/ 3	346	314	332	12.9	12.7	12.5

※ 平年値：1981～2010年の平均値

(2) なし

ア 果実肥大 (品種：豊水 9月1日現在 暦日比較)

縦径は73.5mm、横径は83.7mmで、各々平年比100%で、平年並の生育となっています。

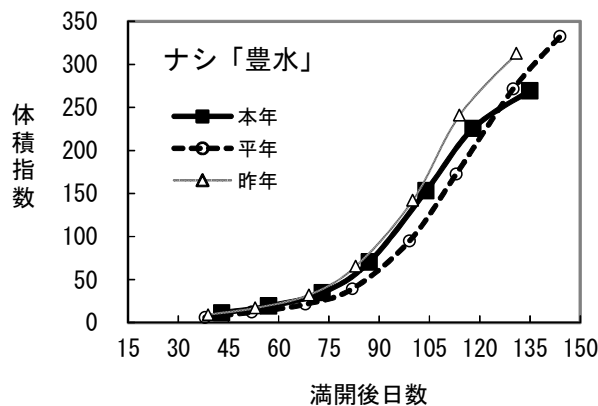


図1 なしの果実肥大

イ 成熟経過 (品種：豊水 8月31日現在)

果実硬度は5.7ポンドで平年並、果皮中のクロロフィル含量は平年よりやや少なく、糖度は11.9%で平年並の状況でした。

(3) りんご

ア 果実肥大 (品種：ふじ 9月1日現在 暦日比較)

縦径は69.5mmで平年比98%、横径が78.0mmで平年比100%で、平年並の生育となっています。

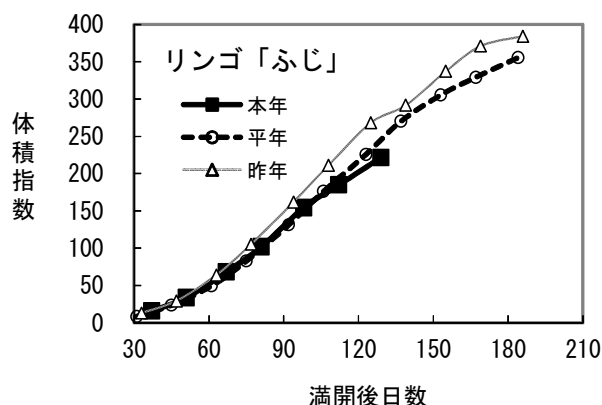


図2 りんごの果実肥大

イ 収穫期と果実品質

「つがる」の収穫盛りは8月21日で平年より14日早く、果実は252gで平年よりやや小さく、糖度は14.7%で平年より高い状況でした。

(4) ぶどう

ア 成熟状況

「巨峰(無核栽培)」の収穫始めは8月20日で、この時点での糖度は18.0%で、酸含量は平年より低い傾向にあります。

東北地方1か月予報(仙台管区气象台 平成27年8月27日発表)

今後の気温の経過は、1週目(8月29日～9月4日)は平年より低い確率が60%、2週目(9月5日～9月11日)は高い確率が50%、3～4週目(9月12日～9月25日)は高い及び平年並の確率が各々40%となっています。

※ 気象庁では「天気予報」以外にも下記の情報も発表しておりますので、これらも参考にして管理作業や防霜対策を進めましょう。

○ 季節予報

1か月間や3か月間といった期間全体の大まかな天候を3つの階級で予報しています。

URL: <http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/>

3 栽培上の留意点

(1) も も

ア 秋肥の施用

収穫後、9月のできるだけ早い時期に秋肥を施用し樹勢の回復と貯蔵養分の蓄積に努めましょう。

また、秋肥は尿素等の速効性肥料を中心に、窒素成分で7kg/10a程度（あかつき：中肥沃度地帯の場合）を目安にしましょう。

なお、樹勢の低下がみられる樹では分肥し、窒素成分で秋肥を6～7割、春肥を3～4割の施用量を目安にしましょう。

表2 ももの施肥基準

地帯 区分	品 種	目標収量 (kg/10a)	施肥量 (kg/10a)					
			N				P ₂ O ₅	K ₂ O
			秋肥	冬肥	春肥	追肥	冬肥	
肥沃度 中	日川白鳳・暁星	2,400	5	5	2	—	10	12
	あかつき	2,600	7	5～7	2	—	10	12
	川中島白桃・ゆうぞら	3,000	8	6～8	2	—	10	12
肥沃度 高	日川白鳳・暁星	2,400	5	5	—	—	10	12
	あかつき	2,600	7	5	—	—	10	12
	川中島白桃・ゆうぞら	3,000	8	6	—	—	10	12
流 亡 程度大	日川白鳳・暁星	2,400	5	—	4	2	10	12
	あかつき	2,600	7	—	4	2	10	12
	川中島白桃・ゆうぞら	3,000	8	—	4	2	10	12
腐植質 火山灰土	日川白鳳・暁星	2,400	7	5	—	—	10	12
	あかつき	2,600	7	5	—	—	10	12
	川中島白桃・ゆうぞら	3,000	8	6	—	—	10	12

注：土壌表面は部分草生、秋肥は9月、冬肥は11～12月、春肥は2～3月、追肥は6月。

イ 秋期せん定

9月中旬頃（徒長枝が太る前）を目安に秋期せん定を行いましょ。なお、本年は、新梢に二次伸長が見られるため、樹勢に応じた秋期せん定を心掛けましょ。

樹勢が強く徒長枝の発生が多い樹では、花芽の充実と樹勢の安定化、秋季防除時の葉液透過の改善を図ることを目的とし、樹冠内部の徒長枝のせん除を行いましょ。

適勢樹では、主枝や亜主枝の生育を妨げる徒長枝を整理し、樹勢の乱れを防ぎましょ。

弱勢樹では、秋期せん定は最小限とし、葉芽の多い中果枝や長果枝を多く配置し、樹勢の回復を図りましょ。若木では適勢樹と同様の方法で実施ましょ。

(2) な し

ア 施肥

「幸水」の収穫収量後、9月中旬頃を目安に尿素等の速効性肥料により、窒素成分で4～5kg/10aを礼肥として施用ましょ。

「豊水」等のその他の品種でも、収穫の盛りを過ぎれば果実品質への影響は少ないと考えられますので、早い時期に礼肥を施用ましょ。

イ 落果防止剤の散布

「二十世紀」等で落果防止剤を散布する場合は、使用時期と他の収穫前の品種への飛散防止に十分注意ましょ。

(3) りんご

ア 中生種の収穫前管理

葉摘みや玉回し等の着色管理は遅れないように実施しましょう。なお、高温下では日焼け果の発生が懸念されますので、最初は果実に直接付着している葉を中心に軽めの葉摘みとし、その後気温の状況に応じて程度を強めていきましょう。

イ 落果防止剤の散布

中生種の「ジョナゴールド」等で落果防止剤としてストッポール液剤を散布する場合は、使用時期と他の収穫前の品種への飛散防止に十分注意しましょう。

(4) ぶどう

ア 「巨峰」の収穫における留意点

(ア) 収穫適期の把握

収穫時期は、気象や園地の条件、また樹勢や着果量、房の大きさ等によって異なりますので、収穫前には必ず果皮色や食味を確認し、適期収穫を心掛けましょう。

(イ) 収穫時の注意点

- a 雨の日やその直後の果実は糖度が低く、日持ちも悪い傾向があります。収穫前の2～3日が晴天で、当日も晴れている日に収穫するよう心掛けましょう。
- b 収穫は、日持ちを向上させる観点から、果実温度の低い早朝に行うよう心掛けましょう。
- c 主枝の先端や日当たりが良く登熟が進んだ枝の果実は、他の果実より成熟が早まりますので、優先して収穫を行いましょ。
- d 収穫や調整の際に果房を直接手で持つと果粉が落ちて商品性が低下しますので、必ず穂軸を持って扱うよう心掛けましょう。

5 病虫害防除上の留意点

(1) 病 害

ア ももせん孔細菌病

中通り北部での発生量は平年より多い状況にあります（8月28日付、病虫害防除情報）。秋期に降水量が多いと翌春の春型枝病斑の発生が多くなる傾向にありますので、収穫が終了したほ場から直ちに防除を始め、越冬病原菌密度の低下を図りましょう。

防除薬剤は4-12式ボルドー液またはI Cボルドー412 30倍とし、9月上旬～10月上旬の間、2週間間隔で計3回散布しましょう。

イ りんご褐斑病

昨年、本病の発生が多かった園や、既に発生が見られる園では、9月上旬頃の防除を徹底し、蔓延防止に努めましょう。

ウ なし黒星病

中通り南部及び浜通り地方での発生量は平年より多い状況にあります（8月28日付、病虫害防除情報）。

今後、冷涼多雨の気候になると翌年の伝染源となる芽への感染が増加するため、秋季防除を徹底しましょう。

なお、発生が多い園では、棚上の枝葉にも十分に薬液がかかるよう、丁寧な散布を心掛けましょう。

(2) 虫 害

ア モモハモグリガ

第6世代の防除適期は、9月1半旬～2半旬頃になると予想されます。発生が多い園では、越冬の密度を低下させるため、収穫後にも防除を実施しましょう。

イ ナシヒメシンクイ

本種の第3世代以降の幼虫は、ナシ果実への寄生が増加します。「幸水」で果実被害が目立った園では、中晩生種を対象に防除を実施しましょう。また、被害果は水づけ等により適切に処分しましょう。

ウ カイガラムシ類

合成ピレスロイド剤やネオニコチノイド剤等を複数回使用した園では、天敵類の減少によりカイガラムシ類の多発が懸念されます。

越冬雌成虫の誘殺を目的に、9月下旬頃までにバンド誘殺を行いましょう。

表3 果樹研究所における主要害虫に対する防除時期の推定
(平成27年8月28日現在)

今後の 気温予測	モモハモグリガ	
	第5世代 成虫盛期	第6世代 防除適期
2℃高い	8月31日	9月4日
平年並	9月1日	9月5日
2℃低い	9月1日	9月6日

注) 演算方法は三角法による。

起算日 8月10日

病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

URL : <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7339
(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL : <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>

ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング情報、イベント情報等をご覧ください。

URL : <http://www.new-fukushima.jp/>